

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

282号

2025年10月29日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 高裁判決は棄却

10月7日〔火〕午後、101法廷で羽田問題の判決がありました。結果は棄却。

一審の却下よりは前進という人もいますがどうでしょうか。原告23名は勿論上告しました。

会場を見渡して裁判長は、集まっている皆さんのために、と少々話をしました。「行政訴訟にはできるものと出来ない物があります」と。それが解っているならこの4年半をムダにしたのではないのでしょうか。裁判に関係するそれぞれの人の貴重な時間を無駄使いされる理不尽を考えてほしいものです。裁判長の説明せざるを得ない気持ちも分らないではありませんが、日本の裁判はこんなに人生の時間をないがしろにしている罪があるのではないのでしょうか。

○ 羽田問題についての議員連盟

10月15日、衆議院会館で羽田新ルートをめぐる国会議員の議員連盟総会がありました。

地味な活動のようですが、この問題を放置せずに追求している議員達もいることを頼もしく思います。

海江田・松原・小池・福島・阿久津・松原・高松・松尾・鈴木・阿部（由美子）といった名前の知られた衆・参議員が参加していました。

与党を離脱した公明党からもこれからは加わって貰いたいと思います。この26年間、ずっと国交省大臣は公明党が独占していたのですから、何らかの変化は期待できるのでは？もっとも代わりに自民党議員がなるのだから期待する方が愚かなのかも知れません。

○ ときわ台駅90年を祝って

1935年（昭和10年）10月にときわ台駅は武蔵常盤という駅名で誕生しました。

それから90年、一時は移転、改築などの声があがったようですが、住民や有識者の希望で保存され、数年前の改修でも復原が目標とされました。板橋区の景観賞を受け、兄弟駅の南宇都宮駅も宇都宮市の景観賞を受けています。両駅は大谷石で作られたので戦火にも遭わず当時の姿を伝えています。この駅舎は常盤台住民の誇りであり、慣れ親しんでいる建築と言えましょう。

10月28日（火）数人の住民の人々が集まり、川村駅長にお祝いの花束を差し上げました。プレゼントは駅と同じ90歳の久世節子さん、10年後の100歳のお祝いはもっと盛大にすること、それまで健康で長生きすることを目標に散会しました。

○ 落葉で焼き芋を



いつも月曜日に老人会の方々が清掃して下さる常盤台公園で、先日は若い保母さんたち3人ほどが園児達と一緒に落葉を掃いていました。

珍しいことなので声をかけてみると、帝都幼稚園の人達なのでした。お芋掘りに行ったのですが、焼き芋をするのに落葉が不足で貰いに来たそうです。園内には分譲当時からの桜の大木が三本もあるけれどその落葉だけでは足りなかったようです。ゴミも清掃してくれました。

○ 踏切解消は高架か地下化か

あの踏切が高架になるなら、駅前の状況はどう変わるのか、具体的な提案がないまま、議論がなされ、不安を覚える人もいます。具体的に図示される必要があるのではないのでしょうか。

お店紹介(2)

「花ぐるま」

常盤台のお店紹介の第2弾は「花ぐるま」さんです。上板橋へのバス通りに面して、駅から二分、店の前に緑の植栽をした所です。先代が三十年ほど前に始めた和食の店で、助手だった今のご主人が見込まれて跡を継いだのが二〇一一年、以来仲の良いご夫婦の体制になってかれ十五年になるそうです。肉を使わない魚介と野菜のみの上品な献立です。中でも先代から名物と言われる野菜の煮物は、それぞれの野菜を別々に煮込んだもので、滋味溢れる逸品です。角の立ったお刺身も新鮮で美味。茶碗蒸しも昔から添えられてきました。

しかも夜のコースも五千円ほど、ランチは二千円で、盛り合わせ・ご飯・みそ汁・茶碗蒸し、どれも丁寧で職人としての心の籠もったものです。ただ、昨今の万物値上げ状態では、近々値段改定せざるを得ないとか。ランチは茶碗蒸しを外してもこの値段でお願いしたいところですよ。

雑誌やテレビの取材は一切お断り。記事を見た興味半分の一見さんが押しかけて常連さんが入れなくなるのを嫌うからです。コロナの時、常連さんに助けられた経験からも、常連さんを大切にしていきたいとのこと。常盤台住民としては早く常連になり、美味しい物を食べさせて貰わねば損というものです。

定休日は月曜・木曜(不定期) お客さんの接待にもお勧めできるお店です。

女性初の総理大臣

女性にとつては？

政治の事を採り上げると、地域のミニコミ紙に政治の話題は避けるべきという意見があります。ただ批判するのでは無く、ご自分の意見を述べて頂ければ自由な討論の場となるのですが。反論があればどうぞ投稿してください。今回の高市総理誕生にはフェミニストのはしくれとして言いたいことが多いのです。

まず女性初となれば日本女性が虐げられている問題を早急に片付けてほしいものですが、まずそういう方面では殆ど期待できません。

選択制夫婦別姓については国連女性差別撤廃委員会から四度も勧告を受けているにも拘わらず、未だに自公政府は改善しませんでした。公明党はやや前向きだったそうですが、頑迷な自民党保守派に押し切られて何もできないまま連立から離脱しました。次に連立を組む維新は更に自民の亜種のように、選択制夫婦別姓の実現は遠のいてしまったのです。

高市氏のような女性は男性の中に伍して行くために恐らく人一倍の努力をしてきたことでしょう。そうでなければ認められないからです。それは量の問題だけでなく、質の面でも同じなのではないかと思えます。故安倍氏を受け継ぐ右翼的傾向も普通の人以上に過度に示さねば認められないと考えるのではないのでしょうか。今は支持率も低くはないけれど、幾つかの国に警戒されるような、軍事国家に後戻りしそうな超右翼的傾向に危惧を覚える人は少なくありません。だから女性初といっても複雑な思いで見守っています。

H・S

常盤台公園のはなづくり

今年も酷暑日の連続で、植物も言葉が話せれば、酷い目に遭ったと歎いていることでしょう。

あの丈夫なアガパンサスの葉先が枯れました。どうやって植物が修復するのか観察中です。花屋さんも鉢物は仕入れることができなかったそうです。

公園のケヤキが強剪定されています。落葉の清掃の負担が大きいのと、台風・強風による倒木を避けるためかな、と勝手に推測しています。理由はもっともですが、ホウキを逆さにしたような格好はとても不自然で、外国の公園でのびのびと茂っている大木達を写真で見ると、どうしてこういう違いができるのか疑問を感じます。

日本でも和光市のあたりでは高木が住宅地の中でも大切にされているように感じました。

これからの板橋区の方針にも至るところに緑を大切にとあるので、樹木が激減している常盤台でも並木や公園の整備など、緑の重要性を主張していった方が良いと思います。

この地球温暖化は異常ですがこの先当分続きそうです。私たちもそれに対応していかねばなりません。炭酸ガスを吸収し、酸素を供給し、夏の殺人光線と熱さから守ってくれる樹木を都市部でも増やして行くべきです。

